

2018年1月 第2号

熊本大学 学生支援室だより

~There is always light behind the clouds.~



★学生支援室 副室長に副島弘文先生が就任されました。

〈障がい学生支援室のこれから〉


熊本大学に学生支援室が設置されて2年が経ちました。規則の整備や支援室の部屋の改修に始まり、支援の体制づくりと学内周知を図ってきました。支援室スタッフも揃い、学生支援部の協力をえて支援体制が整いました。直接の学生支援の他にバリアフリーマップを継続して作成中で、完成した分から支援室ホームページ上に掲載しています。現在、ノートテイクサークルの学生が耳の不自由な学生のためにボランティア活動をしています。今後、学生支援室では他の障がいにも対応できるように活動の幅を広げていきます。適切な支援を行うことだけでなく、支援をしやすい・受けやすい学内の雰囲気づくりも大切だと考えています。

学生支援室副室長 副島 弘文

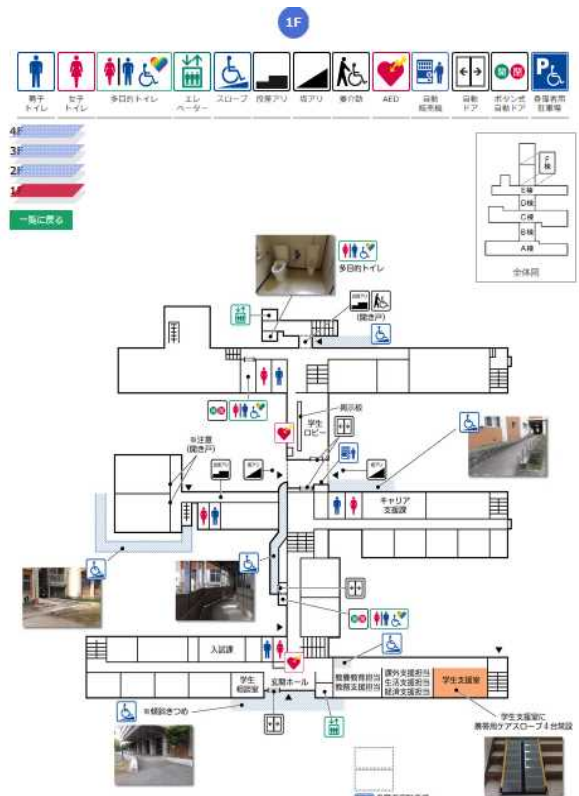
〈バリアフリーマップについて〉

黒髪北キャンパス3棟（全学教育棟、文法棟、教育学部本館）のバリアフリーマップ作成作業が完了し、学生支援室のホームページに掲載しました。

トイレやスロープだけではなく、段差があり車椅子で行くには難しい箇所や、介助が必要と思われる箇所も分かるマップです。探したい施設のアイコン（各階マップの上部にあります。）をクリックすると、マップ上に赤い〇印がつき、探しやすくなっています。

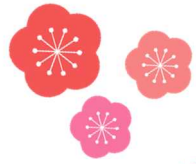
また、多目的トイレのアイコンには、虹色のハートマーク  が付いています。多目的トイレは、身体障害者の方、性別違和の方、着替えをしたいけど更衣室が近くにないとき等、いろいろな方に多目的に使っていただける場所です。その他 AED、自動販売機の設置場所も表示してあります。この『バリアフリーマップ』は、多目的に使えるマップとして作りました。目的に合わせて自由に試してみてください。

今後、黒髪南キャンパスのバリアフリーマップも作成していく予定です。併せて、一緒にバリアフリーマップを作成してくれる学生サポーターの募集もしています！興味のある方は学生支援室までご連絡下さい。



《障がい学生支援の基本的な考え方》

現在熊本大学では、合理的配慮を含む障がい学生支援を行っています。大学における障がい学生支援ってなに？という方も多いのではないのでしょうか？そこで、今回は、「障害学生支援の原則」をご紹介します。



学
生の自立に
つながる支援を！

成
績評価の
ダブルスタンダード
は設けない！

す
べての学生に
質の高い教育を！

教
職員の
理解と協力！

学
内の連携、
学外資源の活用！

完
璧を期すよりも
改善する姿勢！

各
大学の個性を
生かした支援体制！



詳細はこちら：



参考文献：

独立行政法人日本学生支援機構

http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokube/tsu_shien/guide_kyouzai/chokaku_dvd/gaiyou.html

#学校が障害学生を支援するための基本姿勢

《学生支援室の活動状況》

■九州地区国立大学法人障害者支援に関する大学間連携プログラムに参加しました！

平成 29 年 9 月 14 日、九州大学箱崎キャンパスで開催された大学間連携プログラム平成 29 年度 PC ノートテイク基礎研修に、ノートテイクサークルの学生・学生支援室職員の 2 名で参加しました。大学における障害学生支援の概要、パソコン文字通訳基礎についての講義を受け、その後、各大学での活動についても情報交換をすることができました。

■すすかけイブニングセミナーで講演を行いました！

熊本大学教育学部附属特別支援学校より講演の依頼をいただき、平成 29 年 9 月 28 日、すすかけイブニングセミナーにて、熊本大学における障がいのある学生への支援についてお話をさせていただきました。講演の後はグループディスカッションにも参加させていただき、特別支援学校や小中学校の先生等、様々な立場で支援に携わられている方々と情報交換を行いました。



■文学部で合理的配慮の説明を行いました！

平成 29 年 10 月 18 日、文学部で合理的配慮の説明を行いました。障がいのある学生の合理的配慮について、基本的な考え方や具体的なプロセス、学部や学生支援室の役割について話をさせていただきました。多くの文学部教職員の皆様に聞いていただき、貴重な機会となりました。

■オープンゼミで講演を行いました！

教育学部特別支援教育学科の古田先生に声をかけていただき、平成 29 年 10 月 18 日のオープンゼミにて、熊本大学における障がいのある学生の支援について授業をさせていただきました。授業を受けた学生からは、「初めて知ったこともあるので他の人にも教えてあげたい。」「知ることで障がいのある周囲の学生に優しくなれる。」などの感想をいただき、学生に知ってもらうことの大切さを感じました。

■後期 大学生のためのソーシャルスキルトレーニング (SST) を実施しました！

前期に引き続き、平成 29 年 10 月 16 日から 11 月 27 日までの毎週月曜日の 16:10~17:00、全 6 回（11 月 6 日休み）の日程で SST を実施しました。トレーニングの中では、実験時の役割決めや、初対面の人との会話等、普段の学生生活等におけるコミュニケーションの困り事について話し合い、解決方法を考えました。参加した学生さんからは、他の学生さんも自分と同じようなことで悩んでいることが分かり、自分だけじゃないと思えた。アイデアをもらえて助かったとの感想をいただきました。

■ノートテイクサークル交流会（茶話会）を開催しました！



平成 29 年 12 月 8 日、交流会を開催しました！
まず、部長さんから今年の活動の振り返りを発表してもらい、反省点や問題点を挙げて、解決方法をみんなで考えました。その後、これからの活動でやりたいこと、

職員もノートテイクに挑戦してみました！

興味のあることについて意見交換をしました。

※今年 3 月 25 日に行われる熊本大学卒業式において、要約筆記（文字での情報保障）をノートテイクサークルで担当することが決定しました。



《SST（ソーシャルスキルトレーニング）ってなあに？》

学生支援室にて開催しているSST(ソーシャルスキルトレーニング)について紹介します！

SSTとは… ソーシャルスキル（社会生活を円滑に送っていくために役立つコミュニケーションや感情表現の方法）を身につけていくための練習のことで★



■SSTの流れ■

- ① 困ったことをあげる。
- ② ①の中から、本日の話題を決める。
- ③ 場面を設定する。
- ④ みんなから質問をする。
- ⑤ アイディアを出す。
- ⑥ アイディアの中から、自分に役立ちそうなものを選ぶ。
- ⑦ ロールプレイを行う。
- ⑧ 感想を共有する。

■平成29年度後期に実際に行ったSST■

- 【困ったこと】：3人以上の会話でのたちまわり方
- 【場面設定】
- 教室移動時や昼休みに教室でご飯を食べている時
 - 同級生で、席の前後や隣の人と話す場面
 - 相手とは他愛もない会話をする仲
 - 1対1での会話はできるが、集団になると自分が会話に入らなくても話が進むので、どうして良いかわからない。
 - 別の人の向かって話しをしていると感じられる時に、相手に反応するタイミングがわからない。
 - 自分が会話に入らないことで、相手に気を遣わせてしまうのではないかな…。
- 【アイディア】
- 間を見つけて会話に入る。（間：会話がゆっくりのペースの時、話題が変わった時）
 - 深い話題の時を避け、浅い話題の時に「それってどういうことなの？」と聞く。
 - 会話をしている方に視線を向けて相づちをうつ。（会話に入ろうとするメッセージを送る。）

皆さんも同じような場面に遭遇したことはありませんか？

困っていることを共有して、一緒に解決方法を考えてみませんか？

来年度も開催予定ですので、興味のある方は学生支援室までご連絡下さい。



■学生サポーター募集!!

学生支援室では、これまであったノートテイクサークルを拡大し、様々な障がいへの支援が提供できる体制を検討中です。そこで、サポートスタッフとして活動してくれる学生さんを募集しています。

バリアフリーマップの作成やノートテイク等に興味のある方、誰かのためになにかしたいと思っている方、質問からでも大丈夫です。下記までご連絡下さい。



熊本大学 学生支援室 (Student Accessibility Support Room)

場所：黒髪北キャンパス 全学教育棟1階
開室時間：月～金 8:00～17:15(祝祭日を除く。)
TEL：096(342)2765, 2766
HP：<https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

